

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光政策課（内線：7637）

2目 計画調査費

（単位：千円）

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|-----------------------|---|--------|-------|-------|----|-----|--------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| 山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業 | 28,025 | 19,585 | 8,440 | 790 | | | 27,235 | |
| トータルコスト | 55,797千円（前年度26,039千円）〔正職員：3.2人、非常勤職員2.0人〕 | | | | | | | |
| 主な業務内容 | 山陰海岸ジオパーク推進協議会への参画、関西広域連合事務、補助金・委託事業等交付事務、普及・啓発事業等の実施 | | | | | | | |
| 工程表の政策目標（指標） | 他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致を促進する。 | | | | | | | |

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

昨年10月、世界ジオパークネットワークへの加盟が認定され、今後、観光面等での産業活用や、教育現場での活用に繋がる事業等を山陰海岸ジオパーク推進協議会と協力して推進していく。
また、関西広域連合で取り組む広域観光・文化振興分野のうち、山陰海岸ジオパークに係る事務については当県が中心となって担っていく。

2 主な事業内容

(1) 県単独事業

23,443千円

（単位：千円）

| 事業内容 | 金額 |
|---|-------|
| 1 産業振興、観光客誘致に関する事業 | |
| ①山陰海岸ジオパーク活用推進補助金（土産物や飲食品の開発及びPR経費に対し助成（補助率：最大1/2で市町負担額が上限） | 1,100 |
| ②旅行会社商品造成推進委託（現地招致及び店頭PR資料作成経費） | 4,500 |
| 2 教育活用に関する事業 | |
| ①教員を対象とした現地研修会の開催 | 170 |
| ②児童・生徒によるジオパーク研究発表会の開催 | 130 |
| 3 受入れ体制の整備に関する事業 | |
| ①山陰海岸ジオパーク活用推進補助金（市町等が実施する受入れ体制の向上につながる事業に対し助成（補助率：最大1/2で市町負担額が上限） | 2,300 |
| ②鳥取市、岩美町等のジオパークに関する看板製作等に対する補助（補助率1/2） | 3,000 |
| ③電動アシスト自転車管理業務委託（委託先：岩美町観光協会） *継続事業で、利用料収入で維持管理を行っていただくため県の委託料は不要。 | 0 |
| ④外国人観光客に対応するため、鳥取砂丘事務所、山陰海岸学習館に計2名の外国人対応ガイド（英語）を配置。 | 4,638 |
| 4 県内外でのPRに関する事業等 | |
| ①山陰海岸ジオパーク活用推進補助金（市町等が実施する山陰海岸ジオパークの普及・啓発につながる事業に対し助成（補助率：最大1/2で市町負担額が上限） | 1,400 |
| ②旅行作家協会会員など著名人による現地視察及び首都圏等での情報発信 | 310 |
| ③山陰海岸ジオパーク写真コンクールの開催（広報課） | 1,342 |
| ④鳥取空港電照看板、ラッピングバスによるジオパークのPR | 1,260 |
| ⑤フォーラムの開催やチラシ等印刷による普及・啓発及び学術関係者で組織する鳥取分会の運営経費 | 3,293 |

(2) 「山陰海岸ジオパーク推進協議会」への負担金 4,582千円

協議会で実施する主な事業（予算計上予定額30,003千円）

- ・ジオパークフォーラム、フェスティバル、キャラバンの開催
- ・ボランティアガイド養成講座、交流会の開催
- ・モニターツアーの実施 など

(3) 関西広域連合（広域観光・文化振興分野）併任事務局の業務

平成22年12月に設立された関西広域連合の山陰海岸ジオパークに係る業務は、当県が行うこととされており、関係機関と協力、調整を行いながら次の業務を担っていく。

- 広域観光ルートの設定
- 海外観光プロモーションの実施

3 これまでの取組状況、改善点

平成22年10月、山陰海岸ジオパークは世界ジオパークネットワークへの加盟が認定された。県内での認知度については、市町と協力して実施している研修会等により東部地区を中心に高まってきているが、県外等他の地域への情報発信についても今まで以上に力を入れていく。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

2項 環境衛生費

砂丘事務所（電話：0857-22-0582）

4目 環境保全費

（単位：千円）

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 | 財源内訳 | | | | 備考 |
|---|--|--------|-----|-------|----|-------------|--------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 (雑入) | 一般財源 | |
| 日本一の鳥取砂丘を守り育てる事業 | 10,727 | 10,415 | 312 | | | 38 | 10,689 | |
| トータルコスト | 18,715千円（前年度15,256千円）〔正職員：1.0人 非常勤職員：3.0人〕 | | | | | | | |
| 主な業務内容 | 砂丘ガイド及び巡視活動、普及啓発、関係機関や団体との連絡調整 | | | | | | | |
| 工程表の政策目標（指標） | 条例の主旨の普及・啓発（ガイド件数：1500件、落書き件数：21年度実績△30%） 砂丘学習機会の提供（観察会・学習会への参加者数：200人、学校数：10校） | | | | | | | |
| 事業内容の説明 | | | | | | | | |
| <p>1 事業の目的・概要</p> <p>日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例（平成20年10月21日公布）に基づき、巡視指導、条例の趣旨の普及啓発、砂丘の魅力を伝える活動により、鳥取砂丘の保全と再生、適切な利用の推進を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 鳥取砂丘レンジャー等非常勤職員の配置（7,326千円） 砂丘利用者へのガイド及び条例違反への対応（巡視、指導）を行い、条例趣旨の徹底を図るため、鳥取砂丘レンジャー2名、砂丘事務所に係る事務1名、計3名の非常勤職員を配置する。 また、鳥取砂丘における自然景観の悪化が顕著なエリアでの自然環境保全活動（伐木、下刈、除草活動等）を行う非常勤職員2名を配置（緊急雇用創出事業：公園自然課 自然歩道等自然環境活用促進事業（前掲））。</p> <p>(2) ガイド及びガイドツアーの実施（349千円） 鳥取砂丘の特徴、魅力を再発見・理解してもらうため、砂丘レンジャーやガイドサポーターによるガイドや魅力発見ツアーを行う。</p> <p>(3) 砂丘事務所の運営（3,052千円） 砂丘事務所の賃借料、消耗品費、魅力発見ツアーに係る諸経費等</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>(1) 砂丘利用者へのガイド等</p> <p>ア ガイド・案内件数 延1,587件（平成22年4～12月）</p> <p>イ 砂丘の魅力満喫ジオツアーの実施（平成22年4～12月） ・月1～2回、1時間半程度の砂丘ガイドツアーを実施（延11回 185人） （内容）砂丘の成り立ち、地形、地質、生き物、風紋、多鯰ヶ池等</p> <p>ウ 砂丘学習案内件数 小学校3校、幼稚園1園、保育園1園</p> <p>(2) 鳥取砂丘レンジャーの活動</p> <p>ア 活動の基本的考え方 単に条例の禁止事項を取り締まるのではなく、地域の財産である鳥取砂丘のガイド（解説）を通じて、利用者の方に砂丘の価値や魅力を認識していただき、条例の趣旨の啓発を行っていくことに重点を置いて活動。</p> <p>イ 禁止行為の発見件数等（平成22年4～12月） ・落書き発見件数：延374件（含10㎡以下）（前年同月比28%減）</p> | | | | | | | | |

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

東部総合事務所県民局（内線：0857-20-3657）

2目 計画調査費（地方機関計上予算）

（単位：千円）

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 | 財 源 内 訳 | | | | 備考 |
|-----------------|-------------------------------|-------|-----|---------|----|-----|-------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| 山陰海岸ジオツーリズム支援事業 | 2,900 | 2,000 | 900 | | | | 2,900 | |
| トータルコスト | 9,290千円（前年度8,454千円）[正職員：0.8人] | | | | | | | |
| 主な業務内容 | 市町との連絡・調整、補助金交付・支援 | | | | | | | |
| 工程表の政策目標(指標) | 山陰海岸ジオツーリズムに取り組む団体の掘り起こし及び支援 | | | | | | | |

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

世界ジオパークネットワークに加盟した山陰海岸ジオパーク地域内でのジオツーリズムを推進し、世界ジオパークネットワーク加盟を地域振興につなげていくとともに、山陰海岸ジオパークの魅力や活用の大切さを県民に広く知っていただく。

2 主な事業内容

(千円)

| 区 分 | 事業費 | 事業内容 | |
|------------------|-------|--|---|
| 山陰海岸ジオツーリズム振興補助金 | 2,500 | ジオパーク内の資源を活用した創意工夫ある取り組みを行う団体等を支援する市町に対し、補助金を交付する。 | |
| | | 対 象 者 | 特定非営利活動法人、団体、企業、個人 |
| | | 対象事業 | 山陰海岸ジオパーク地域内でのジオツーリズムの振興につながる現地体験型事業 |
| | | 対象経費 | ・参加者の募集に必要な経費 ・現地体験に必要な経費 ・地質等の学習に必要な経費 |
| | | 補助率 | 定額 |
| | | 限度額 | 250千円 |
| | | 予 算 額 | 2,500千円 |
| 普及啓発事業 | 400 | ジオパークの魅力を紹介する写真展開催等 | |
| 計 | 2,900 | | |

3 これまでの取組状況

平成21年度に創設した山陰海岸ジオツーリズム振興補助金を活用して、地域団体等による新たな取組みが行われた。ジオツーリズムの定着に向け、引き続き地域での取組みを支援していく必要がある。

■山陰海岸ジオツーリズム振興補助金活用実績

| | 平成22年度 | 平成21年度 |
|-----|-------------------------|---------------------|
| 事業数 | 6事業 | 5事業 |
| 地 域 | 鳥取砂丘、湖山池、扇ノ山、浦富海岸 | 扇ノ山、浦富海岸 |
| 内 容 | 沢登り、古代体験、スルメづくり、シーカヤック等 | 化石レプリカづくり、ウォーク、遊覧船等 |